

平成30年度

公益財団法人新宿未来創造財団 第2回評議員会

議事録（議論内容）

※参考資料

平成30年12月13日

○高橋議長 それでは、ただいまから平成30年度 公益財団法人新宿未来創造財団第2回評議員会を開催いたします。まず議案第7号「平成30年度上半期事業執行状況及び資金運用業務状況報告について」を議題に供します。

まず上半期の事業執行状況について事務局の説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○高橋議長 ありがとうございます。

それでは、議案第7号についてご意見、ご質問のある方はご発言をお願いいたします。

○星山評議員 3ページの確認ですが、漱石山房記念館の開館1周年記念展示会の参加者数の現状はどうなっているのでしょうか。

○鈴木漱石山房記念館担当課長 会期が9月22日から11月25日で、9月、10月、11月の総計で6,240名の来館者という状況です。内訳は9月が894名、10月が3,007名、11月が2,339名でございます。目標値5,000人に対し、6,000人を超える来館者がありました。

○小菅評議員 12ページ、放課後子どもひろばで機能付きひろば、いわゆるひろばプラスを落合第五小で拡大実施とありますが、具体的な実施内容や運営体制、また子どもや保護者の反応についてお教えてください。

○武富子ども支援課長 落合第五小学校のひろばプラスですが、募集は昨年11月から新宿区で行い、平成30年4月からひろばプラスとして実施しています。登録者数は現在3人です。運営体制としては、通常はひろば責任者1人、ひろば支援者が4人ですが、ひろばプラス開設に伴い、専任職員の支援者を1人増員でつけています。

次にひろばプラスの具体的な機能についてです。まず、ひろばプラスの児童は、通常ひろばと違い、時間管理を行います。例えば保護者から19時まで預かってくださいと依頼があれば、確実に19時まで子どもをお預かりするということになります。

また、連絡帳を用いて、保護者とコミュニケーションをとれるようなツールを設けて

います。あと、もう1つはおやつを提供があります。非常に長い時間子どもを預かるので、途中でおやつを提供するという点が、ひろばプラスの大きな特色であると思っております。

○小菅評議員 とても良い取組ですが、職員の負担にならないよう拡大してもらいたと思います。職員も対応等大変かと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

○武富子ども支援課長 職員の配置の体制につきましては、この事業は新宿区からの受託事業のため、基本的には配置人数が決められています。ただ、ひろばの運営状況に応じて、例えば本来のひろば責任者が病気などで休みになった時は、代理で入る職員を常時応援体制として配置したり、特別な支援を要する子どもがいるひろばについては、支援者を増員する等、職員の負担が大きくならないようバックアップしています。

○古川評議員 今朝、吉住区長のフェイスブックで確認しましたが、共働きで子育てしやすいまちに新宿区と宇都宮市が2018年第1位になったということでした。放課後子どもひろばなど、共働きの保護者に財団事業がとても寄与しているのだらうと思いますので、いつも皆様ご苦労さまです。

○大和評議員 文化センター事業で、現在販売中のチケットを含めて今年の動向や、お客さんの反応を教えてください。また貸館事業が順調とのことですが、どのような分野が増えているのでしょうか。

○八木原文化・学習課長 入場者の状況についてですが、先般、9月末開催した東京都交響楽団の公演は、入場者が余りよくありませんでしたが、年明けに行われる東京フィルとの公演は、ほぼ完売に近い状態まで来ております。ただ、落語芸術協会などの関係団体と話をしても、うちに限らず全般的にどの施設も集客が悪いという話を聞いています。公共施設の運営もなかなか厳しい状況なのかなという傾向は感触としてあります。

貸館の状況ですが、おかげさまで先ほどご報告させていただきましたとおり、大ホールは9割近い状況で推移しております。

貸館の状況につきましては、閉館した新宿厚生年金やコマ劇場で開催していたJポッ

プ、ミュージカル、演歌系のものが、近年は新宿文化センターに回帰しているような現象があります。世代を問わず、文化センターに足を運んでいただく機会が大変増え、文化センターまでのアクセスなどの問い合わせを多く頂戴しております。そういう意味では、文化センターが広く知られるようになってきたのかなと思っています。

○小菅評議員 子どもフェスタ2019についてです。新宿区で生きた怪獣が見られる機会はこのフェスタ以外に恐らくないのではないかと思います。これは4年か5年に1回のイベントであるため、今のレガス子どもクラブの子どもたちで小学5、6年生は、「また見られるのかな」と大変楽しみにしています。このフェスタはいつ開催され、怪獣が今回も来るのか教えてください。

○武富子ども支援課長 この子どもフェスタ2019ですが、例年はサイエンスフェスタとして実施しています。今年度サイエンスフェスタ10周年のため、子どもフェスタとして来年3月2日、実施予定です。

生きた怪獣ではなく、大きな動く恐竜を2体、コズミックセンターのロビーに設置します。今回は恐竜の化石を発掘・研究し、テレビにも出ている「恐竜くん」という方を招いて、恐竜のトークショーと、あと恐竜の絵を描く体験も実施予定です。

○谷頭評議員 先日文化センターに行った際は、とても賑わっていて、さきほど集客が少ないというお話もありましたが、その日は溢れんばかりの人で、このような日もあるのだなと感じました。それから、ロビーの奥のパネルで展示や写真展に「私が写っていた」という声も聞きますので今後も是非活用してください。あと生涯学習関連のイベントで利用する地下の部屋は、もう少し賑わうような誘導の仕方を工夫いただけるとありがたいです。

○八木原文化・学習課長 ロビーの活用につきましては、谷頭評議員からもご指導いただきまして、常にいろいろなものを飾れるような仕掛けをしています。また、年4回花道茶道協会のお花を飾っていただいたりと、区民の方々が広くご利用できるスペースとなるよう、少しずつ作りかえています。

地下の人の誘導ですが、これは大変難しく、いろんな誘導案内を貼ったりしていま

すが、今のところ十分な効果がありません。地下で生涯学習フェスティバルの表彰作品を一堂に展示したり、表彰式の際にお茶を点てたりして、引き続き地下へ人を誘導できるように工夫したいと考えています。

○高橋議長 よろしいですか。それでは、次に資金運用業務状況報告について事務局から説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○高橋議長 ただいまの説明についてご意見のある方、ご発言をお願いします。それでは、議案第7号「平成30年度上半期事業執行状況及び資金運用業務状況報告について」は原案どおり了承するということにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋議長 ありがとうございます。

異議なしと認め、議案第7号を了承することといたします。

○高橋議長 続きまして、「議案第8号 平成30年度事業計画及び収支予算の補正について」を議題に供させていただきます。

事務局の説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○高橋議長 ただいまの説明についてご質疑のある方、ご発言をお願いいたします。

○小菅評議員 補正の内容で35万円の寄附として2名の方から賛同者があったとありますが、これは個人なのか、法人なのか。また、この方々に顕彰か何かをされるのでしょうか。

○岡田経営課長 この寄附に関してですが、団体ではなく2名の個人の方からいただいて

おります。お名前は差し控えさせていただきますが、顕彰として1名の方はホームページ・広報紙にお名前を掲載させていただくことで、ご了承いただいております。もう1名の方は、広報紙等への掲載はご遠慮されるとのことで承っております。またこの2名の方には、お礼状についてもお送りさせていただいております。

○高橋議長 それでは、議案第8号「平成30年度事業計画及び収支予算の補正について」を原案どおり了承することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋議長 ありがとうございます。

異議なしと認め、議案第8号を原案どおり了承することといたします。

以上で、本日本日予定された議事は全て終了いたしました。

議事はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

(以下、報告事項は省略)